

世界が注目する 「ガンツウ」に乗って



瀬戸内の美しさを 庭にしてしまった極上の旅館

日本が世界に誇るJR東日本の「四季島」やJR九州の「ななつ星」など豪華列車と並んで、瀬戸内クルーズが運営する「ガンツウ」の評価が高く、人気を呼んでいます。

このたび、ガンツウの二泊三日のクルーズに乗船してきましたので、印象なども含めて報告したいと思います。

いままさに経験してきたクルーズと比べていろいろなところが独特で、とても印象深いものでした。

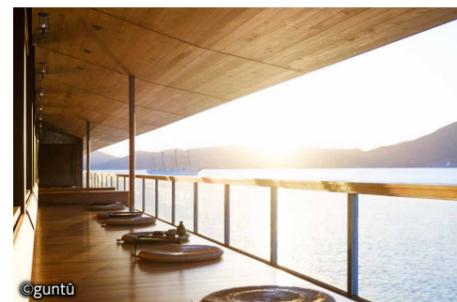
このクルーズのコンセプトとしては、訪問地を訪ね歩くクルーズではなく、瀬戸内海の美しさを庭に見立てた極上の旅館を目指していると感じました。通常のクルーズと違って、夜間は沖合いに停泊して日中にゆっくりと自転車のようなスピードで流れるように移動し、移りゆく瀬戸内の多島海の美しさを楽しむというものです。電気による推進システムを採用していることもあり、驚くほど揺れない風状態が続く日々です。

京都の龍安寺石庭や奈良の慈光院といった庭を海に見立てた空間

のように、日の出・夕景・月見など時の移り変わりを、陽だまりの縁側で何もしない時間の豊かさを感じるような静かなクルーズです。もちろん、コースによって魅力的な地での上陸を楽しむのですが、決して慌ただしいものではありません。

ガンツウから見る瀬戸内海はまったく異質な美しさを感じさせてくれ、リピーターが多いのも頷けます。

ガンツウの設計家は日本建築の建築家で、瀬戸内海という敷地を舞台にした日本の伝統建築の旅館をイメージし設計したそうです。



日本の伝統建築の美しさを洋上に再現したガンツウ



(上) 船はゆっくり、静かに進んでいきます
(左) 広々としたラウンジには障子越しに温かい光が射し込みます

寛ぎの時間を追い求めた設計とサービス

ガンツウの内装は木材を多用し、落ち着いた雰囲気、他船に例を見ないもので、寛ぎを第一に考えていることがわかります。一番驚いたのは操舵室が一階にあり、見晴らしの良い二階三階は乗船客が楽しめるように配置してあることです。この船のコンセプトを象徴しているように感じます。そして後部のラウンジもホテル



操舵室一階は珍しい

オークラのロビーを思い出させるもので、広々としたスペースに障子で光を和らげ、ゆったりと椅子

瀬戸内にこだわりぬいたおもてなしの数々

が配置されています。ここに寿司カウンターのような立礼のカウンターが配され、和菓子職人が和菓子作りの実演をしながら、抹茶などとともに2〜3種もてなしてく

れます。各客室にはワインセラーもあり、五種類のワインが提供されていることも、今までのクルーズにはなかったサービスでした。

船内のもはすべて瀬戸内海エリアの特産品でセットされています。各室のミニバーに入っているのは、山口県産のいちじくのジュース、愛媛のアケハマ(ポンカン)

ジュースなど、瀬戸内のオリジナルな飲物ばかり。思わずひと通り飲んでみたくなってしまいます。レストランでは、瀬戸内の野菜、魚介類、牛肉と徹底しています。



素材を各テーブルに、シェフが好みの調理法を聞きに来ます

ガンツウ船内レポート



客室内のテラス。客室は全室、瀬戸内海を一望できるテラス付きのスイートです



客室は、和モダンですっきりとした、上質な空間です



客室内のリビング。日本人建築家・堀部安嗣氏が手がけた居心地のよい客室



ミニバーのジュース。地元瀬戸内産のジュースが入っていました



ガラス張りのバスルーム。移りゆく瀬戸内の島影を眺めながら入浴を



和菓子カウンターでは実演で三種類をいただきました



和風のゆったりしたラウンジ。和菓子もいただけます



バーコーナーにはフルーツやお菓子類のコーナーが



魚介類に肉、野菜、お好きなものをお好きな調理法で



夕暮れ、そして月夜を楽しむ。静かに時の移り変わりを見つめる、贅沢なひととき



時とともに五感が研ぎ澄まされる

ガンツウが表現する世界観

前泊も優雅に
鳴門パークヒルズ ホテルリッジ



鳴門海峡を望むテラスは各部屋に設えられています



プライベート感の高いオーシャンビューの客室



万里荘で鳴門の旬の味覚を

ガンツウ乗船前には、鳴門海峡を一望する高台に佇む「鳴門パークヒルズ ホテルリッジ」の宿泊をお楽しみください。瀬戸内の静かな海を眺め、光と風、日常では聴くことのできない贅沢な自然が奏でる音と潮、木々、陽、地に溢れる匂いを感じる「五感の至福」をコンセプトに掲げるホテルリッジは、7万坪の敷地に、わずか10室の客室という贅沢。客室はいずれも瀬戸内を見渡す広いデッキを有する広々としたつくりで、オーシャンビューの開放感と別荘のようなプライベート感を演出。敷地

内には天然温泉を有する「ザ・スパ」や和洋のダイニングが点在し、上質な空間を創り出します。宿泊も素晴らしいものですが、ハイライトは夜と翌朝のお食事でしょう。会場は枯山水式の庭園や海を望む万里荘で。有形文化財の日本建築を移築した万里荘は、ホテルの域を超えてまるで優雅な料亭のようです。近海で揚がる旬の魚や食材をふんだんに使い、名物の石焼きから見た目も美しいお食事が始まります。朝に夕に、優雅な鳴門でのひとときをご用意いたしました。

7万坪の敷地に客室わずか10室
瀬戸内海と大鳴門橋を望む極上リゾート



ガンツウの
テンダーボート

5/29発 2泊3日クルーズ
「西回り航路 悠久の歴史と文化にせとうちを知る」



6/23発 3泊4日クルーズ
「体験航路 せとうちの伝統文化と技術を体験する」



伝統文化・技術の体験も楽しめます

悠久の歴史と文化にせとうちを知る
「ガンツウ」贅とくつろぎ、極みの旅

【新神戸駅集合・5日間】5月29日(日)

…¥735,000 (テラススイート)

1名利用追加料金 ガンツウ2泊で¥430,000、ホテル2泊¥40,000

…¥835,000 (テラススイート 露天風呂付)

1名利用追加料金 ガンツウ2泊で¥530,000、ホテル2泊¥40,000

- 1 新神戸駅⇨鳴門(大塚国際美術館)①(ホテルリッジに宿泊)
- 2 鳴門⇨淡路島(人形浄瑠璃)⇨徳島(阿波正藍の工房見学)⇨琴平①(こんぴら温泉泊)
- 3 琴平(金丸座)⇨倉敷⇨ベラビスタマリーナ⇨ガンツウ乗船②(「西回り航路 悠久の歴史と文化にせとうちを知る2泊3日のクルーズ。宮島沖錨泊)⇨
- 4 終日、ガンツウ船上での贅沢なくつろぎの時間をお楽しみください(伯方島沖錨泊)
- 5 ⇨ベラビスタマリーナ(11時頃)⇨福山駅

せとうちの伝統文化と技術に触れる
「ガンツウ」3泊
贅とくつろぎ、極みの旅

【新神戸駅集合・5日間】6月23日(木)

…¥968,000 (テラススイート)

1名利用追加料金 ガンツウ3泊で¥640,000、ホテル1泊¥30,000

…¥1,180,000 (テラススイート 露天風呂付)

1名利用追加料金 ガンツウ3泊で¥790,000、ホテル1泊¥30,000

- 1 新神戸駅⇨淡路島⇨大塚国際美術館⇨鳴門①(ホテルリッジに宿泊)
- 2 鳴門⇨倉敷⇨ベラビスタマリーナ⇨ガンツウ乗船③(「体験航路 せとうちの伝統文化と技術を体験する」3泊4日のクルーズ。玉野沖錨泊)
- 3 午前、船外体験「香川・高松伝統文化・技術体験」(岡山日出沖錨泊)
- 4 午前、船外体験「岡山・瀬戸内伝統文化・技術体験」(詫間湾錨泊)
- 5 ⇨ベラビスタマリーナ(11時頃)⇨福山駅